

日光医療センター通信



獨協医科大学日光医療センター

Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

Vol.

9

2010.2 第9号



主な内容

- 診療紹介（外科・第1回目）2
- 部門紹介（事務部栄養課）3
- 各種検査の紹介（PSG検査とCPAP療法）4
- 旬を食べよう4
- フィッシュ哲学を導入して職場環境の活性化!!（看護部） ...5
- ダイヤルイン導入のお知らせについて6
- トイレリニューアル工事の完了について6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ **外科（第1回目）**

外科・診療科長 宮地 和人

外科は、手術によって病気に侵された臓器を切除することで治療を行う診療科です。治療の対象となる臓器には脳、呼吸器、循環器などのさまざまな疾患があります。日光医療センターの外科で取り扱う疾患は主に消化器と体表の臓器です。これらの臓器の疾患で外科治療となるものとして良性（腫瘍、結石、炎症）疾患と悪性（癌）腫瘍があります。良性疾患で外科治療の対象となるものとしてよく知られている疾患として、虫垂炎、ソケイヘルニア、痔核や胆石症などの疾患があります。他方、悪性疾患としては胃癌、大腸癌そして乳癌などの疾患があります。

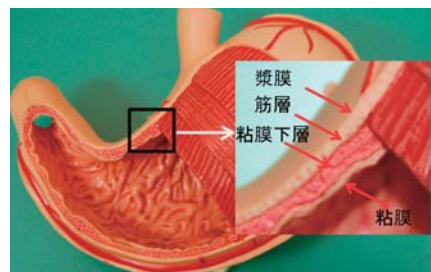
日光医療センターでの外科手術を行う代表的疾患に胃癌が挙げられます。今回、胃癌について概況を示します。

<胃癌について>

胃癌は長い間、日本人の癌のなかで死亡する原因の第一疾患でした。しかし、最近は肺癌が死因の中で最も多くなり、胃癌による死亡は癌の中で第二位となっています。ただし注意が必要で、胃癌の発生が減ったのではなく、胃癌で死亡する人が減っただけで、日本人の胃癌発病率は依然として高率であることはあまり話題になっていません。これは、胃癌が癌検診などで比較的早期の段階で発見されることがある事や胃癌に対する治療法の進歩で治癒（完全に治ること）している症例が多いことが考えられます。

胃癌の分類で早期胃癌と進行胃癌に分類されます。胃癌は胃の粘膜から発生し胃の内側から外側に発育します。この進行状態が、早期胃癌では胃の内側の粘膜とその下の粘膜下層までに留まっている場合です。この粘膜の下の筋層に癌が進んでいる場合は進行癌となります。一般的に早期胃癌の場合の5年生存率（手術後5年たっても生存している場合：5年間再発がない場合には胃癌が治ったこととなります）は90%以上ですが、筋層に達している場合には83%、胃癌が筋肉を超えて増殖した場合には40%以下となります。

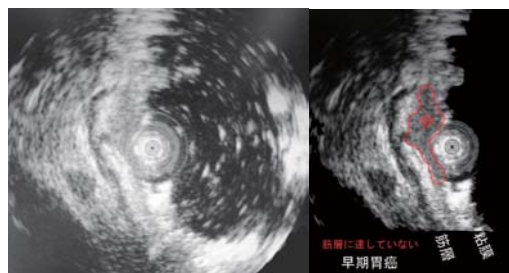
胃壁の構造



この胃癌の胃の壁で発育状況を調べる検査として超音波内視鏡検査があります。

超音波内視鏡検査を胃癌の患者様に対して行い、胃壁での胃癌の発育状態を確認します。

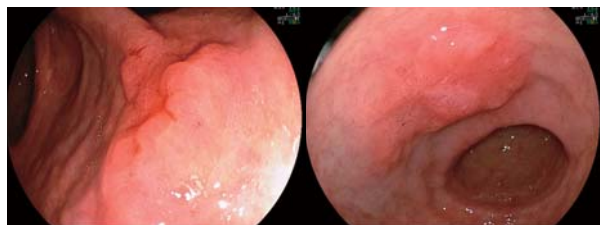
超音波内視鏡検査画像



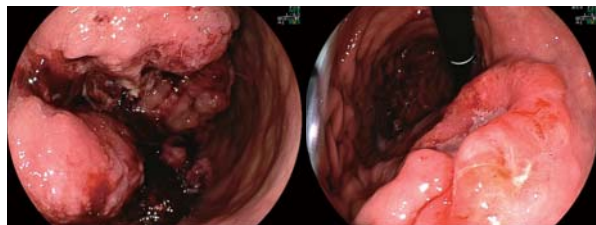
さらに、2005年度に厚生労働省から発表された年齢調整死亡率では県別での比較を行っていて、栃木県は10万人当たり38.9人で全国で3番目でした。胃癌死亡の少ない沖縄や熊本の19.2人から19.5人に比較すると2倍も死亡率が高く注意しなければいけない疾患であることに変わりはありません。

内視鏡写真

早期胃癌



進行胃癌



※次回は、胃癌を発生させる原因を説明いたします。

部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶ 事務部栄養課

● 栄養課の構成

日光医療センター事務部栄養課の事務所・厨房は病院地下1階にあり、栄養指導室は病院1階にあります。栄養課では、患者様の栄養相談および入院患者様の献立作成・調理・配膳を担当しております。給食管理は（株）ミールサービスH&Cに委託しており、毎日およそ450食の食事を提供しています。

● 業務内容

① 食事の提供

・入院中のお食事

医師の指示により患者様一人一人の病気や症状に合わせたお食事を提供しています。

入院中のお食事は「一般食」と「特別食」に大きく分かります。

一般食とはいわゆる「普通食」で特別な制限のない食事です。患者様の年齢・性別等により分けられ、食形態より常食、分粥食、流動食など、いくつかの種類一般食で対応しています。

特別食とは病気の治療を考慮した食事です。「腎臓食」「心臓病食」「肝臓食」「糖尿食」など15種類の特別食で対応しています。

・行事食について

栄養課では、毎日のお食事をより楽しく、また季節感を感じていただけるように、月に一度行事食（メッセージカード付）を実施しております。

1月 ……正月おせち料理、七草粥	5月 ……子供の日	10月 ……十五夜
2月 ……節分	7月 ……七夕	11月 ……文化の日、勤労感謝の日
3月 ……ひな祭り	8月 ……お盆	12月 ……冬至、クリスマス、年越しそば
4月 ……お花見弁当	9月 ……敬老の日	



1月 正月おせち料理



3月 ひな祭り



4月 お花見



7月 七夕



12月 クリスマス

・個別対応

食物アレルギー、宗教上の禁止食品、嗜好による禁止食品など可能な限り個別に対応しています。

入院中のお食事を楽しみの一つにしてもらえるよう、出来る限り患者様個人の希望を取り入れられるよう頑張っています。

② 栄養食事指導

疾病の回復・予防、健康の維持・増進に役立つ正しい食生活を患者様が実践できるように栄養指導（栄養相談）を行っています。

・個別栄養指導（入院・外来）

医師の指示により、生活習慣病をはじめ様々な特別食に関する栄養指導（栄養相談）を行っています。

・集団食事指導（入院）

入院の患者様を対象に、糖尿病、減塩の食事療法についての集団食事指導を行っています。

糖尿病 毎月第1、3週の木曜日 13：30～14：15

減 塩 毎週水、木曜日 16：00～16：45 毎日予約制で栄養指導を行っています。

③ 日光医療センター通信【旬を食べよう】

時期ごとに変わる旬の食べ物を取り上げ、栄養やおいしい食べ方など紹介しています。

※食事について気になることやお困りのことがありましたら、医師・看護師を介して栄養士にご相談ください。

各種検査の紹介 シリーズ（全5回）で当センター臨床検査部で実施している各種検査をご紹介します。

第3回目はPSG検査とCPAP療法の内容をご紹介します

▶当センターではPSG検査とCPAP療法を行っています。

PSG（ポリソムノグラフィ）検査は、睡眠時無呼吸症候群の原因や重症度を調べたり、治療方法や処方決定するために行います。検査の方法は、一晚入院して、いろいろな電極やセンサーを身体に取り付けて眠り、脳波と心電図、胸部・腹部の動き、鼻からの空気の流れ、動脈血中の酸素量などを記録します。



睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に何度も呼吸が止まった状態（無呼吸）が繰り返される病気です。原因の多くは、空気の通り道である気道が閉塞してしまうことにより起こります。そのため肥満体の人、首が太くて短い人、顎が小さい人などに多く、もともと気道が狭い構造になっている上に、睡眠中は咽頭の筋肉や舌が緩んでさらに気道が狭くなり、睡眠中の無呼吸が発生します。症状としては、いびきや不眠、夜間睡眠中に目が覚めたり、起床時の頭痛、日中の眠気、高血圧、不整脈などがあります。

治療の第一選択として、CPAP（経鼻的持続陽圧呼吸療法装置）療法があります。これは、一定圧を加えた空気を鼻から送り込むことによって、気道の閉塞を取り除き、睡眠中の気道を確保する治療法です。CPAP療法により、合併症（高血圧・狭心症・心筋梗塞・脳血管障害など）の予防や、日中の眠気の改善、睡眠の質の向上などの効果が見込まれます。



経鼻的持続陽圧呼吸療法装置

旬を食べよう

うど



うどは特有の香りとほろ苦さ、さわやかな歯ざわりが魅力の春の野菜です。今では、一年中出回っていますが、旬は3～4月です。

野生のものもありますが一般に出回っているのは栽培もので、野生種に比べるとアクや苦みがまろやかです。

《栄養》

- わずかに含まれるアスパラギン酸が、新陳代謝を高めることで疲労回復を助ける効果があります。
- 低カロリーで淡泊な味、食物繊維も含むことから、ダイエットや美容に効果があります。
- 特有の香りはジテルペンと呼ばれる有効成分によるもので、神経機能を調整する機能があると言われ、精神安定の効果があります。

《見分け方と保存方法》

- 茎がすーっとまっすぐのびていて、白くはりがあり、太さが均一のものを選びましょう。繊毛の生えてるのが新鮮です。
- 光に当てると固くなる性質があるので、新聞紙などにくるんで冷暗所で保存します。

《注意点》

- 皮の周りに強いアクがあるため、皮は厚めにむきます。
- 空気に触れると切り口が黒くなるので、切った直後に酢水（酢を少量たらしただけの水）にさらします。つけすぎると水っぽくなり、香りと歯ざわりを損ねるので注意しましょう。

《美味しい食べ方》

- ぬた………酢の入ったお湯でゆでたうどにお好みで野菜や魚介類を合わせ、酢味噌をかけます。
- きんぴら……細切りにしたうどとにんじんを、ごま油で炒め、調味料を入れて炒めます。
- サラダ………芯の白い部分を切り、酢水にくぐらせ、ドレッシングと合わせます。
- 豚肉巻き……4等分に切ったうどを、豚肉で巻いて、調味料を加えて焼きます。
- 天ぷら………芽の部分を天ぷらにします。独特の苦味は天ぷらにすると和らぎます。
- お吸い物・味噌汁の具………短時間の加熱で、うどの歯ざわりと香りがそのまま味わえます。

（管理栄養士 川村 千恵美）



『フィッシュ哲学』を導入して職場環境の活性化!!

看護部では昨年4月から、職場環境をより良いものに！と『フィッシュ哲学』を導入しました。

『フィッシュ哲学』とは、米国シアトルにある魚市場の人々の態度や行動を経営哲学としてまとめたものです。

看護部それぞれの部署において、働く私たち自身のモチベーションアップと職場活性化を目指し、様々な取り組みを行っています。『フィッシュ哲学』を実践していく中で、今まで以上にスタッフ間の交流が得られているように感じられてきています。看護部は新たな年を迎え、益々パワーアップし、患者様のためにがんばっていきます。

各部署での取り組みの一部を紹介します・・・

<外来>



外来ナースは外来患者様のマドンナ(笑)メンバー18名は朝のストレッチで笑顔に美しさをプラスします。

<放射線・内視鏡部>



内視鏡室やCT室の前に、検査の流れなどを掲示しています。検査の待ち時間に是非ご覧になってください。

<手術部>



手術を受けられる患者様の緊張を和らげ、安心して手術が受けられるように季節に応じた作品を展示しています。

<3階南病棟>



患者様に楽しんでもらえるように、折り紙や色紙などを用いて各月の行事や季節感を表現してきました。自分たちも楽しく取り組み、病棟の中も明るくなりました。



<3階西病棟>



季節に応じた飾り付けを行い、癒される時間を持ちながらモチベーションを上げて頑張っています。

<4階南病棟>



患者様から募集した川柳を飾ることで、患者様、家族、スタッフとの楽しい会話が増えました。

<4階西病棟>



院内案内のアルバム作成と季節感を味わえるディスプレイをして、患者様に喜んでいただいています。



お知らせ ダイアルイン電話番号の導入について

これまで当センターへのお電話は、代表電話番号にご連絡いただき、電話交換手を介してご希望の部署におつなぎしておりましたが、ダイアルイン電話番号の導入により、直接ご連絡できるようになりましたので、お知らせいたします。

なお、代表番号は、これまでどおり、0288-76-1515です。

- ※外来予約変更については、前日（土曜、休診日を除く）の午後3時～4時までにご連絡ください。
- ※患者様のご紹介については、これまでどおり地域連携医療部が対応させていただきます。

主なダイアルイン番号

市外局番（0288）

診療科名等		お問い合わせ番号
外 来 受 付	呼吸器内科	76-1620
	消化器内科	
	循環器内科	
	神経内科	
	泌尿器科	
	糖尿病・内分泌内科	
付	外科	76-0622
	皮膚科	
	麻酔科	
	整形外科	
リハビリテーション部		76-0627
地域連携医療部		76-1700 ※FAX兼用
医事課（総合受付）		76-0637
医事課（健診担当）		76-0630

お知らせ トイレリニューアル工事の完了について

2年計画で実施しておりました1号館1階～4階のトイレリニューアル工事が完了いたしました。

工事中、皆様にはご不便をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。

なお、ご利用の際は次の方にご迷惑にならないようお使いいただきたくご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

改修例



1号館1階外来(男性用)

1号館1階放射線部前(車いす用)

編集後記

この冬は「暖冬」との予報でしたが、実際には寒さが厳しく皆さんも「冬」を実感しているのではないのでしょうか。病院の周りは自然豊かで「季節」を感じることができますが、建物に入ってしまうと窓の外を見る以外なかなか「季節」を感じる機会がありません。今回、掲載された看護部による「フィッシュ哲学」の実践により行われている院内のディスプレイをご覧になり「季節」を感じた方もいらっしゃると思います。これからもどのようなディスプレイで「季節」を演出してくれるのか職員の我々も楽しみです。(K.O)

当センターと一緒に働いてみませんか？

平成22年4月採用
看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで

TEL 0288-76-1515
(内線270) 看護部

日光医療センター通信 第9号

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地
TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611
http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/indexj.html
携帯サイト http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/i/
発行年月日/平成22年2月1日
編集・発行/獨協医科大学日光医療センター広報委員会
印刷/株松井ビ・テ・オ・印刷

